

「藝上」左からクリスティーナ・バーガー、一戸小枝子、濱田寿法



PHOTO Shin Matsui

「魔笛」公演で主演パミーナ役



ソプラノオペラ歌手 内田明日香 6月26日に公演

ニューヨークを拠点に活躍するソプラノオペラ歌手の内田明日香が、26日(水)午後8時からシンフォニー・スペースのレナード・ニコイ・タリ・シアター(ブロードウェイ2537番地)95丁目で行われるマッタン・オペラ・スタ...

日本人の振付家としてニューヨークで40年以上にわたる一戸小枝子が率いる「一戸小枝子ダンスカンパニー」が5月30日夜、エイリー・シテイグループ・シアターで公演を行った。

「昨年」になった当カンパニー元理事のベアテ・ゴードンさん、セレスティ・ホルムさん、大平和登さんに今回の新作「トランスミグレーション」公演を捧げますとあいさつ。

舞台は3部形式で行われ、1部は「歌麿」(04年初演)より喜多川歌麿の浮世絵「蛇取り」の様子を女性ダンサーのソロで再現。続いて「棟方志功へのオマージュ」(03年初演)より版画家の棟方志功の代表作「柳緑花紅頰」を力強く現代的な舞踊で披露した。2部では歌舞伎・能楽パフォーマーの濱田寿法を迎え、独自の解釈で表現した能「藝上」を上演。3部では抽象版画画家の内間アンセイの作品をスクリーンに投影し、音楽家の下山一二三の音楽を静かに動へと移行する舞踊で表現した「トランスミグレーション」を初演した。フィナーレでは盛大な拍手に包まれた。何度も見に来ているという女性「毎回衣装もきれいで楽しみ。一戸さんのダンスを創り続ける情熱には感銘を受ける」と、米国人女性「素晴らしい舞台だった。日本で能を観たこともあり興味深かった」と話した。公演後、一戸さんは自分を支え続けてくれた3人が亡くなった悲しさに触れながら「これからは自分の持つ持っているものを大事にし、日本の伝統文化を取り入れた舞踊を表現していきたい」と語った。(高田麻希)

トランスミグレーション 3人への思い込め 一戸小枝子ダンスカンパニー

ウエストチエスター・ラリカに移住、アイリッシュ・ピアノの歴史に師事する。8歳で初のリサイタルを敢行。2003年にイェール大学卒業後、ブダペストのリスト音楽院でミクローシ・ユ・ペレ二氏に師事。米国、日本、欧州など世界各国で演奏活動を行い、2000年にはアーティスト・インタナショナル・オーディションに優勝し、カーネギーホール、ワイル・リサイタル・ホールにおいてニューヨーク・デビューリサイタルを行った。

チェリスト 寺岡えりか 29日リサイタル

日本短編映画祭 アジア協会で開催 「美代子阿佐ヶ谷気分」も

日本やアメリカからクオリティーの高いインディペンデント作品を集めた映画祭「ニューヨーク・ジャパニーズ・フェスティバル」(共催:マリー・クリエーションズ、アジア・ソサエティ)が7日(金)と8日(土)を上映。作品はすべて英語で開演される。今年、米国制作の作品に加え、札幌国際短編映画祭上映作品、長編作品を含むプログラム、合計16作品を上映。作品はすべて英語で開演される。

「美代子阿佐ヶ谷気分」も アジア協会で開催

ニューヨークを中心に活躍する三重県出身のピアニスト宮下恵理が27日、米国会大ホールで開演した。宮下は、ピアノ演奏の理解を深めるため03年に来米。ニューヨークシティカレッジで学士、ミシガン州立大学では修士課程を、それぞれ演奏学部ピアノ科コースで終了。演奏活動のほかに、音楽療法の分野や講師の仕事なども手がけ幅広い活動を行っている。今回のコンサートは、ニューヨークでの念願の初ソロリサイタル。宮下が得意とする現代音楽曲のほか、ロマン派 印象派などの4曲を演奏した。

宮下は、6月にメリーランド州で行われる音楽祭にも出演予定で、今後は室内楽アンサンブルの演奏活動にも意欲的に取り組む。

宮下恵理 ソロ公演で観客を魅了

宮下恵理のソロ公演の様子が写った写真。

宮下恵理のソロ公演の様子が写った写真。

Advertisement for Kkobo.com, a printing and business services company. It lists various services like business cards, brochures, and promotional items. The website is www.kkobo.com.

Advertisement for metro navi, a website providing local information in New York City. It lists services like restaurant reviews, real estate, and job listings. The website is http://www.metronavi.com.